

凌雲の会 一期生研修報告書

焼津市議会議長 鈴木 浩己 様

凌雲の会一期生議員

(報告者：内田)

令和2年1月27日に、凌雲の会一期生議員で研修に参加しましたので、次のとおり報告します。

[期間]

令和2年1月27日(月)

[参加者]

須崎 章、藁科 寧之、河合 一也、増井 好典、安竹 克好、内田 修司

[研修企画先]

地方議員研究会

[研修場所]

TKP 東京日本橋カンファレンスセンター (東京都中央区)

[研修講師]

大阪市立大学大学院 都市経営研究科 永田 潤子 教授

1. 研修内容 1：マーケティングの視点を生かした議員活動

- 1) マーケティングの考え方
- 2) 人間の視野=関心
- 3) 参加の五段階

- 4) 伝わる・・・理解と共感のコミュニケーション
理解・・・話すスキル
- 5) I (アイ) メッセージと Y (ユー) メッセージ
- 6) 角度を変えて・・・男性脳と女性脳
- 7) 場の設定で感情は影響を受ける
- 8) 非言語はあなどれない (メラビアン効果)
- 9) 共感のコミュニケーション 学習を促す質問の例
- 10) 行政組織 A to Z
- 11) 現在官僚制理論
- 12) 行政の意思決定の特徴
- 13) 官僚制の逆機能 (R・マートン)
- 14) 広告の世界では・・・
- 15) 印刷物を作る
- 16) 印刷物に載せるべき内容

2. 研修内容 2：質問作成のために押さえておくべき基礎知識

- 1) -1 そもそも課題や成果とは何か
- 1) -2 政策のサイクル
- 1) -3 地域課題の見える化
- 2) -1 議員パワーを活かす
- 2) -2 データ／情報／ナレッジ
- 3) -1 質問の目的は
- 3) -2 質問の4種の神器
- 3) -3 良く使う「問題である」というフレーズの持つ意味
- 3) -4 事実の確認には5W1H
- 3) -5 5段階のアカウンタビリティで質問を組み立てよう
- 3) -6 質問に使えるフレーズ
- 4) -1 公民連携のポイント
- 4) -2 4つの市民価値
- 5) -1 議員個人の専門性とは・・・
- 5) -2 議会の機能・役割
- 5) -3 行政職員の専門性から考える